

## 太平洋島嶼国案件

### バヌアツ早期警報共同研究

太平洋島嶼国の能力向上を目指し、バヌアツ国始め近隣島嶼国の参加による災害管理における最新 ICT の利用と緊急通信システムのモデル化について共同研究を行った。具体的なシステムモデルとして、災害警報システムの導入等、総合的な防災通信システムの構築の検討を実施し、報告書として取りまとめた。

主な活動内容は以下のとおり

#### 4月：トンガでの NEWS プロジェクト設備見学及び関連機関との意見交換実施（トンガ、バヌアツが参加）

Early Warning System のオペレーションセンタ見学



トンガ・トンガ噴火による津波の被災地の見学



#### 7月：バヌアツでの防災ワークショップ実施（トンガ、パプアニューギニア、ソロモン諸島、バヌアツが参加）

ワークショップ模様



#### 10月：日本研修（パプアニューギニア、バヌアツが参加）

講義模様



## **APT サモア離島 ICT ネットワーク整備に関するパイロットプロジェクト (APT-C1)**

サモア国第 2 島において、陸揚げ済の光海底ケーブルを活用して、政府・公共通信ネットワークを整備し、災害対策や医療分野に資する予定である。現地への機器輸送まで完了しているが、サモア情報通信省と工事費捻出について調整中である。

## **パラオ離島デジタルデバイド解消対策共同研究 (APT C1)**

パラオの離島におけるデジタルデバイドを解消するための通信システムの整備について共同研究を行った。デジタルデバイド解消対策のための最適な通信システムを検討し、まだ通信網が整備されていない 2 つの離島に適用することを決定した。

## **トンガ国変動性再エネ大量導入下の系統運用機能改善(JICA 案件)**

2024 年度に開始された JICA 事業で、他社受注業務に補強として参加しており、具体的には、トンガ電力公社の光ファイバー通信回線の復旧、維持管理について 2024 年 10 月から 2026 年 9 月でコンサル業務を実施予定です。2024 年度は 10 月にトンガでの現地調査を実施し、調査結果を基にした研修・保守に必要な機材の検討を実施しました。また、2025 年度に実施予定のトンガ電力公社への光ファイバー研修の資料作成に着手しました。